



北浦っ子

令和4年度学校だより3月号
3月24日発行
延岡市立北浦小学校 No20
文責：校長 甲斐 憲一

お別れ遠足

3月10日（金）にお別れ遠足がありました。まずは体育館で6年生を送る会をしました。各学年いろいろな出し物を準備しており、それぞれの学年の雰囲気が出ており、6年生を楽しませることができました。

お別れの会が終わると、みんなは海浜公園へ行き、そこで6年生と鬼ごっこをしたり、各学年ごとにいろいろな遊びをして汗びっしょりになりながら楽しむことができました。みんな遊びでおなかがすいたのか、6年生から早めの昼食リクエストがあり、早めの昼食時間となり、自分で作ってきたお弁当をみんなで食べました。お弁当作りのお手伝いをしたり、お弁当箱におかずを入れたり、自分でおかずを作ったりなど、子どもによって違いますが、自分弁当の日ということでがんばったようです。

6年生にとっては小学校最後の遠足でした。有意義な時間が過ごせたようでした。



【 1年生の出し物 】



【じゃんけん電車ゲーム】

PTA読み聞かせ

しばらくコロナ感染症の拡大により、できなかった保護者によるPTA読み聞かせでしたが、ひさしぶりに各教室で行うことができました。

どの学年も担当の保護者の方をしっかりと見て、読み聞かせに集中していて、読み聞かせの重要性を再認識したところでした。読み聞かせをしていただいた保護者の皆さんありがとうございました。来年度も引き続き、子どもたちのためによりよろしくお願いいたします。



【2年生での読み聞かせ】

素晴らしい卒業式

令和4年度北浦小学校卒業証書授与式が挙行されました。朝まで嵐のような大雨が降っていましたが、普段から行いのよい6年生なので、式が始まる前には、すっかり雨も上がりました。

今年度の卒業生は21名。みんなとても元気で男女ともに仲良く6年間を過ごしてきました。6年生はコロナウイルス感染症の影響で学級閉鎖や休校、行事なども中止や延期になったりして、いろいろな制限のかかる時期を過ごしてきました。しかし、このような中でも我慢強く学校生活を送ってきました。

卒業式では一人一人壇上で目標や決意、そして感謝の言葉を力強く発表し、その後に卒業証書を受け取りました。6年生の成長した姿に私も感極まって涙してしまい、式辞で言葉に詰まってしまいました。その式辞の中には、WBC優勝を受けて急遽、朝に挿入した言葉を卒業生に紹介しました。侍ジャパンの大谷選手が強豪メキシコ戦勝利後のインタビューで「本当に何回かチーム全体として折れかけていたのですが、最後まであきらめないで気持ちをつないで、つないで！勝つことができたという言葉です。

この言葉は絶体絶命のメキシコ戦を見ていたから強く実感した言葉であり、これからの人生にとっても、大切な言葉だと思います。来年度からは中学生。新たなステージへと進んでいきますが、北浦小学校で2年間担任をした高岡先生から教えていただいたことやいろいろな経験を活かしながら自分の目標に向けてがんばってほしいと思います。

令和4年度修了式

3月24日（金）に令和4年度の修了式を行いました。1年生の代表 伊東 杏さんをはじめ、5名の代表が修了証書を壇上で受け取りました。1年間のがんばりの証書ですので、しっかり見ていただき、がんばったところなどを褒めていただきたいと思います。その後5年の高平夏蓬奈さんと3年生の波越幸之介くんが3学期をふり返る作文を発表しました。3学期にがんばって成果が出たことや、あこがれる6年生になりたいということみんなの前でしっかりと発表しました。

明日から春休みです。安全に気をつけて楽しい春休みにしてほしいと思います。今年度のまとめと来年度の準備を自分でしっかりやりましょう。



【証書授与】



【6年の高岡学級目標】



【1年 杏さん】



【5年 夏蓬奈さん】

【3年 幸之介くん】